

資料1

第1回 通学・安全部会

現状の確認 (通学距離・アンケート結果)

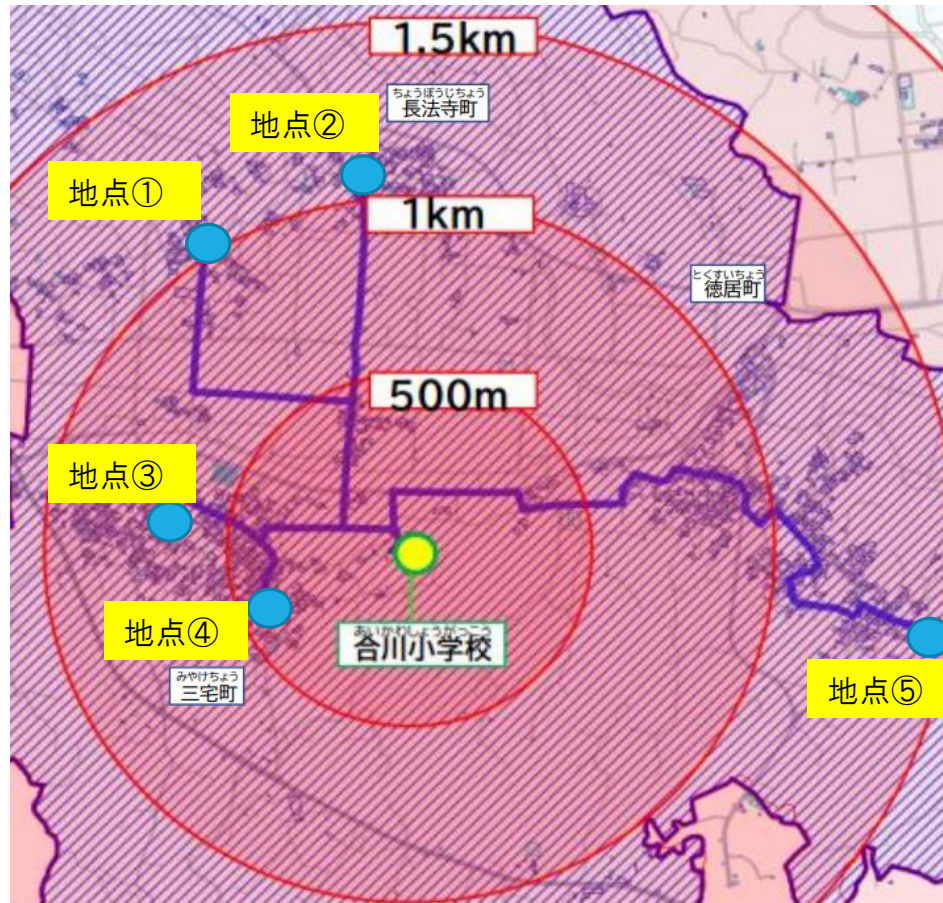
日時 令和6年5月13日(月)

場所 天名公民館 多目的ホール

目 次

- 1 現在の通学距離・通学時間
- 2 「新たな小学校(現 郡山小)」からの徒歩通学圏域
- 3-1 保護者アンケート 実施概要
- 3-2 保護者アンケート 実施結果
- 3-3 保護者アンケート 全体の傾向

1 現在の通学距離・通学時間(合川)



【実際の通学距離】

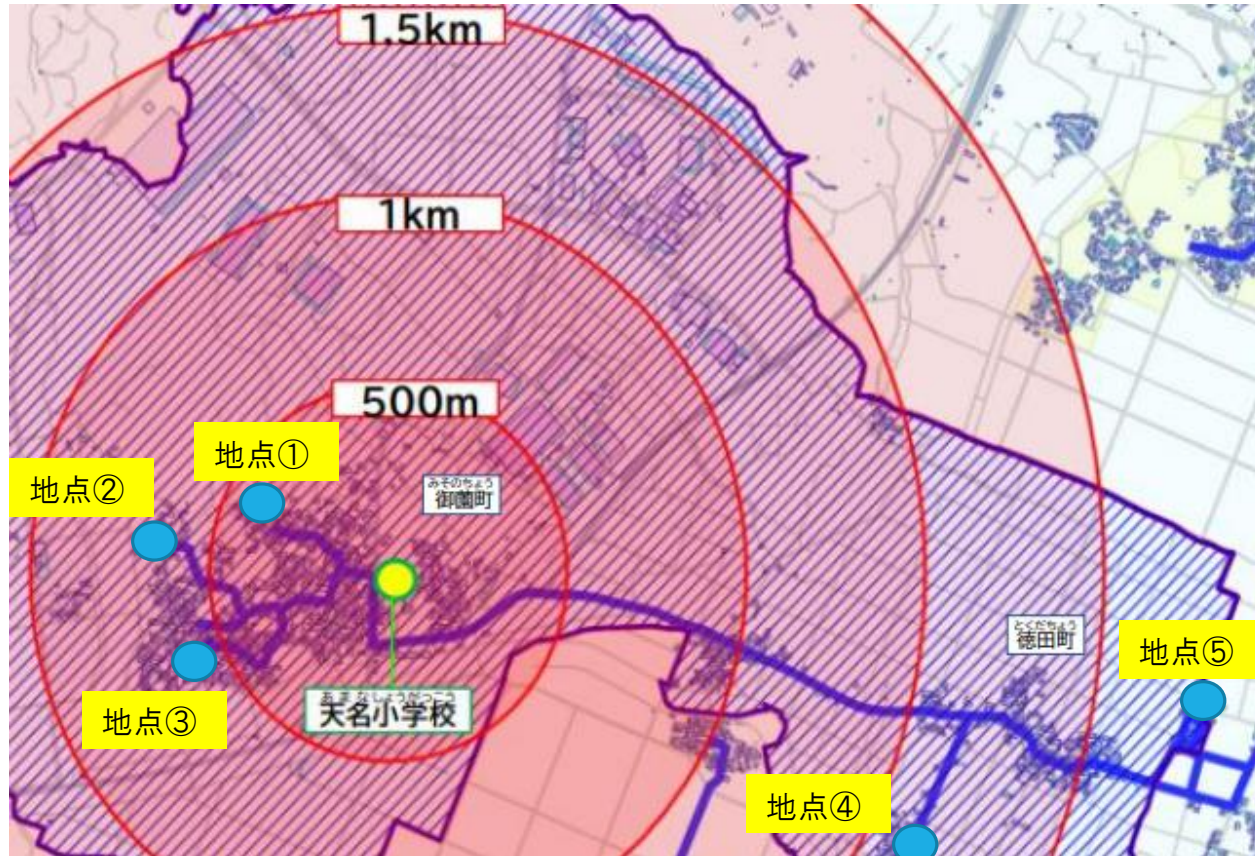
地点① ⇒ 合川小	約1.4km(約22分)
地点② ⇒ 合川小	約1.2km(約19分)
地点③ ⇒ 合川小	約1.0km(約16分)
地点④ ⇒ 合川小	約0.7km(約11分)
地点⑤ ⇒ 合川小	約2.2km(約34分)

※子どもの歩行速度で5歳半で分速66-69mとされている。()内は分速66mとして計算したもの。

【参考】「幼児の通常歩行と細則歩行時の歩行パラメーターの特徴」(村田伸ほか)

は、それぞれの小学校区の範囲を示しています。 (太字の青線)は、それぞれの小学校区の通学路を示しています。

1 現在の通学距離・通学時間(天名)



【実際の通学距離】

- 地点① ⇒ 天名小 約0.4km(約7分)
地点② ⇒ 天名小 約0.8km(約13分)
地点③ ⇒ 天名小 約0.7km(約11分)
地点④ ⇒ 天名小 約2.4km(約37分)
地点⑤ ⇒ 天名小 約2.8km(約43分)

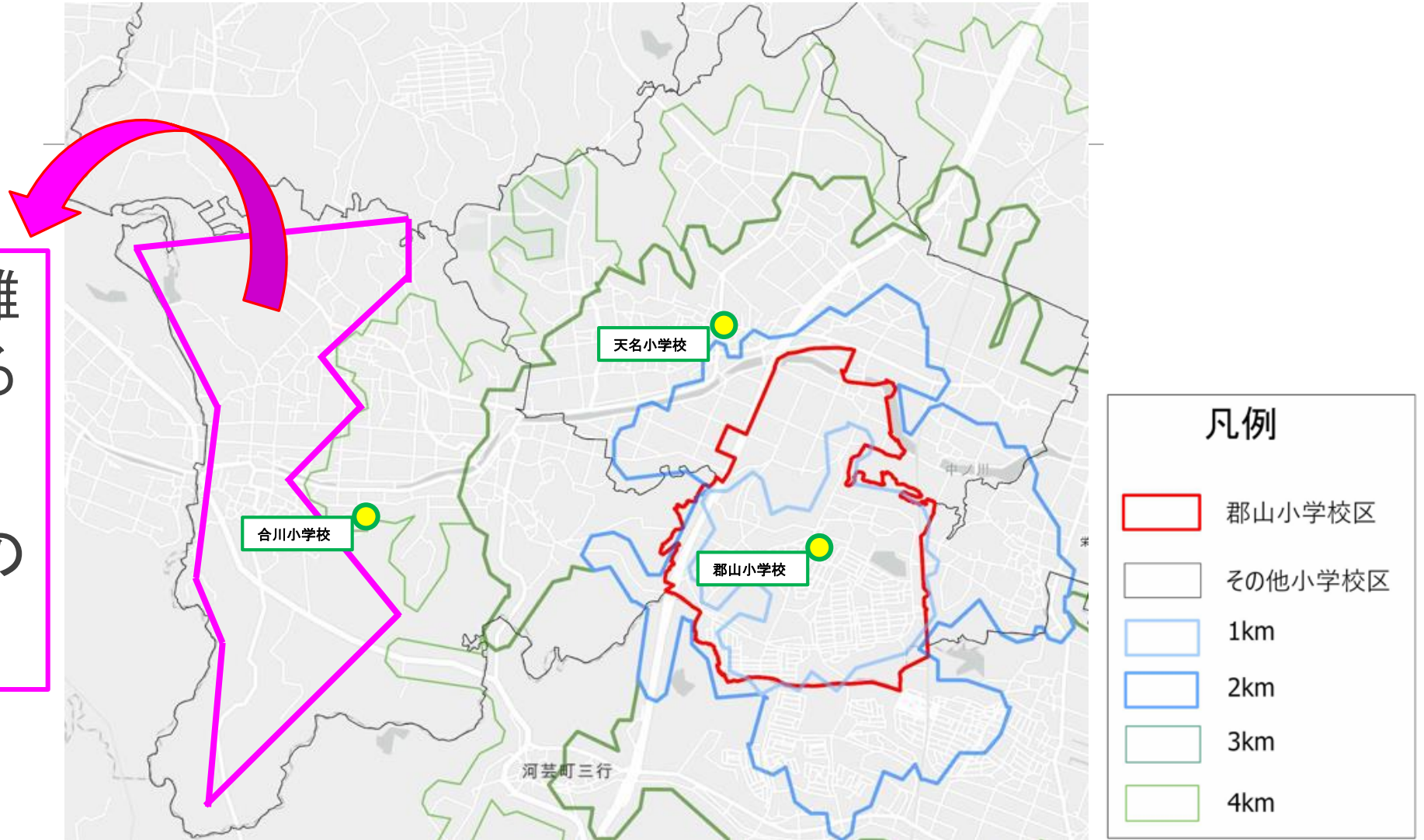
※子どもの歩行速度で5歳半で分速66-69mとされている。
()内は分速66mとして計算したもの。

は、それぞれの小学校区の範囲を示しています。 (太字の青線)は、それぞれの小学校区の通学路を示しています。

【参考】「幼児の通常歩行と細則歩行時の歩行パラメーターの特徴」(村田伸ほか)

2 「新たな小学校(現 郡山小)」からの徒歩通学圏域

徒歩で通学距離
が4kmを超える
居住地域は、
合川小学校区の
一部のみ



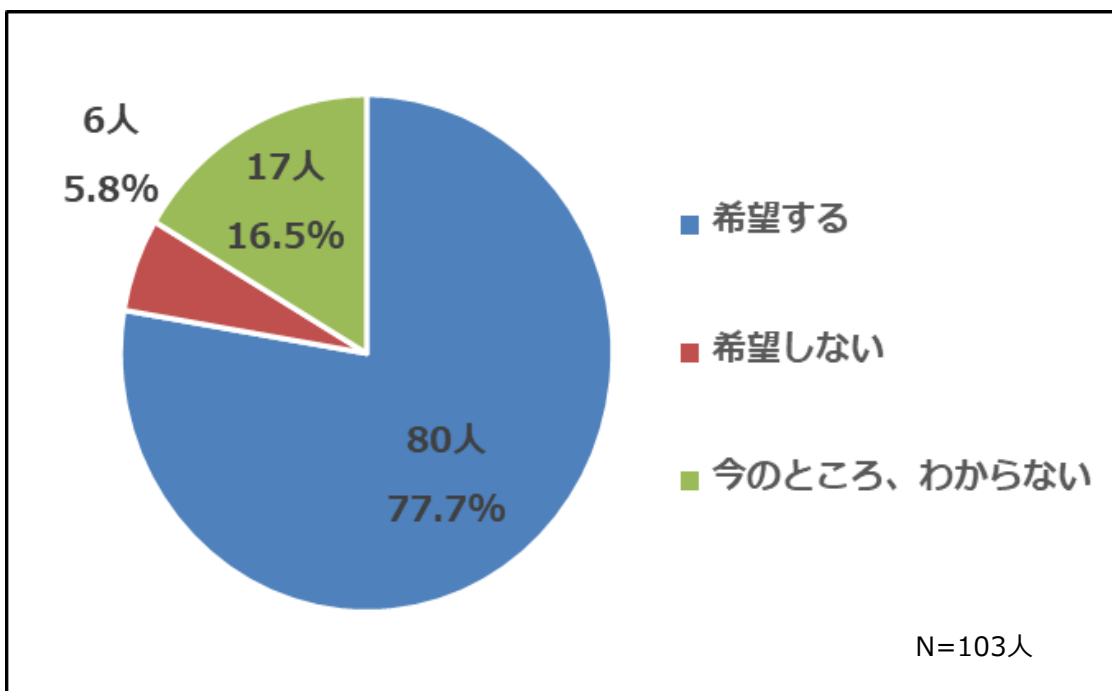
【スクールバス導入調査研究業務報告書 80ページを一部加工】

3-1 保護者アンケート 実施概要

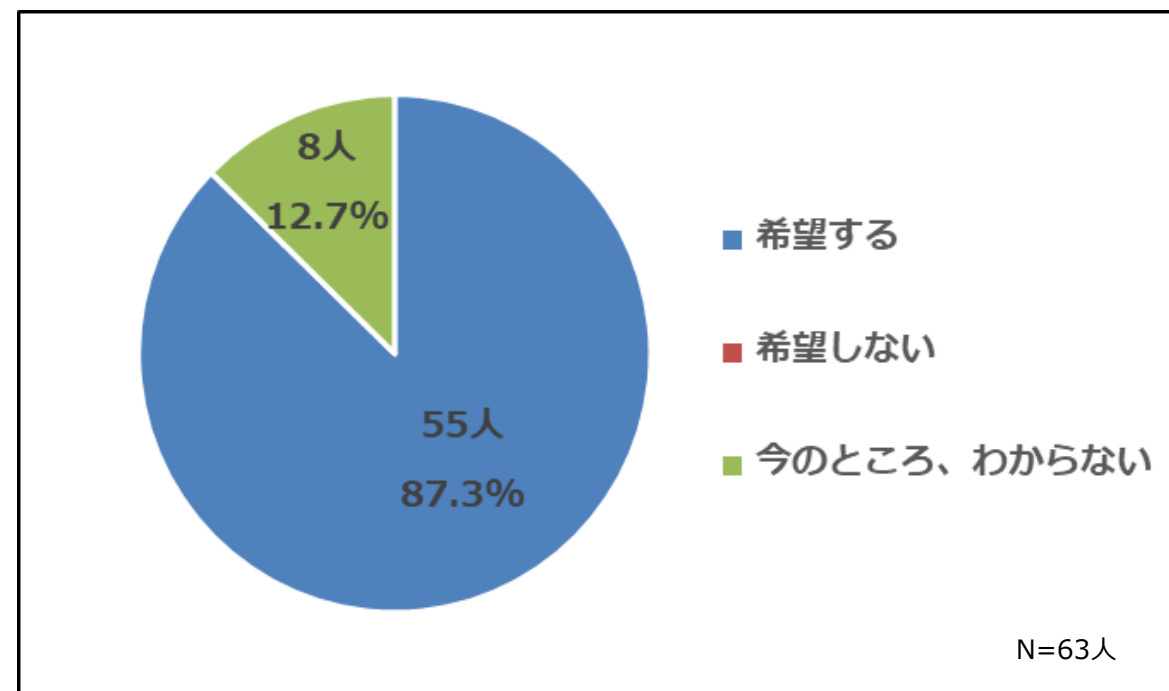
- 対象者 「新たな小学校」の開校に伴い、通学路が変更になる
- 合川小学校及び天名小学校に通学する児童
 - 両小学校区に居住している未就学児
- の保護者
- 実施期間 令和6(2024)年1月30日(火)から2月14日(水)まで
- 回答状況
- | | |
|----------------|----------------|
| 調査票A(児童の保護者) | 回答数103 (89.6%) |
| 調査票B(未就学児の保護者) | 回答数63 (75.9%) |

3-2 保護者アンケート 実施結果①

■スクールバスの利用意向



《児童の保護者》

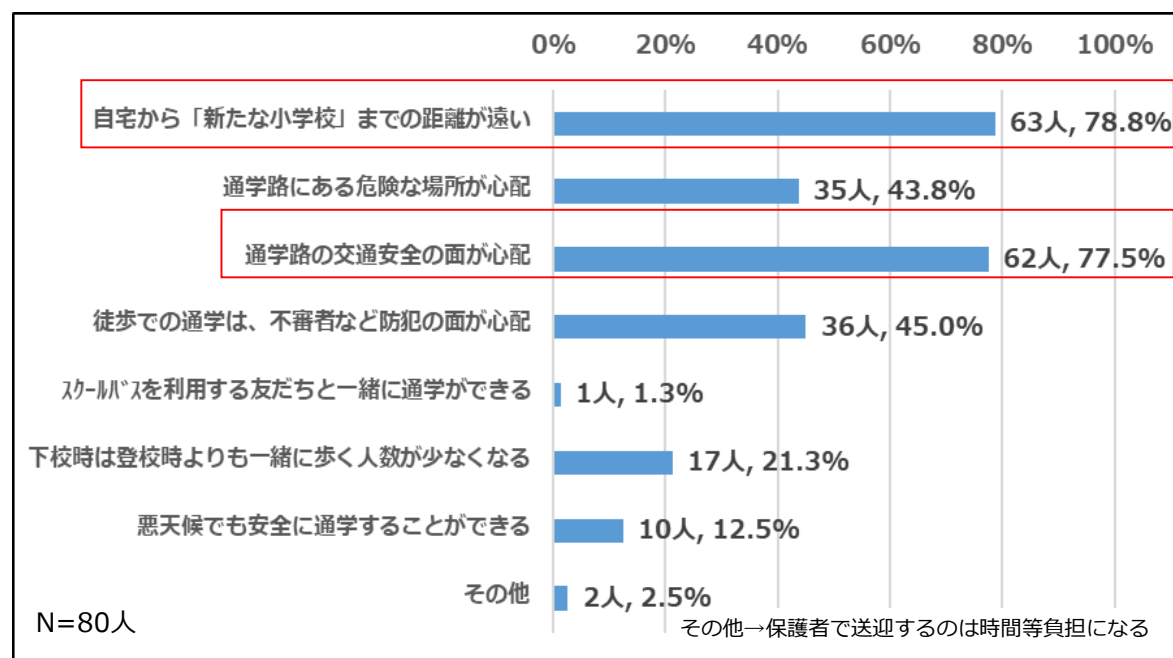


《未就学児の保護者》

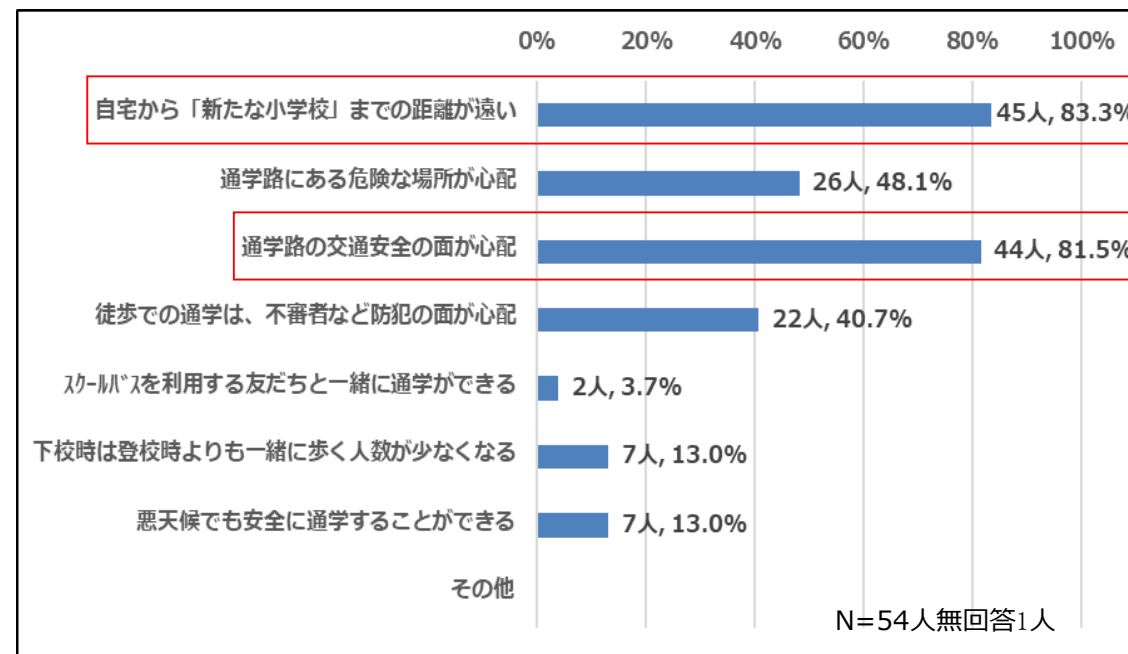
【スクールバス導入調査研究業務報告書 13ページ、27ページから抜粋】

3-2 保護者アンケート 実施結果②

■スクールバス利用希望の理由（最大3つまで選択可）



《児童の保護者》

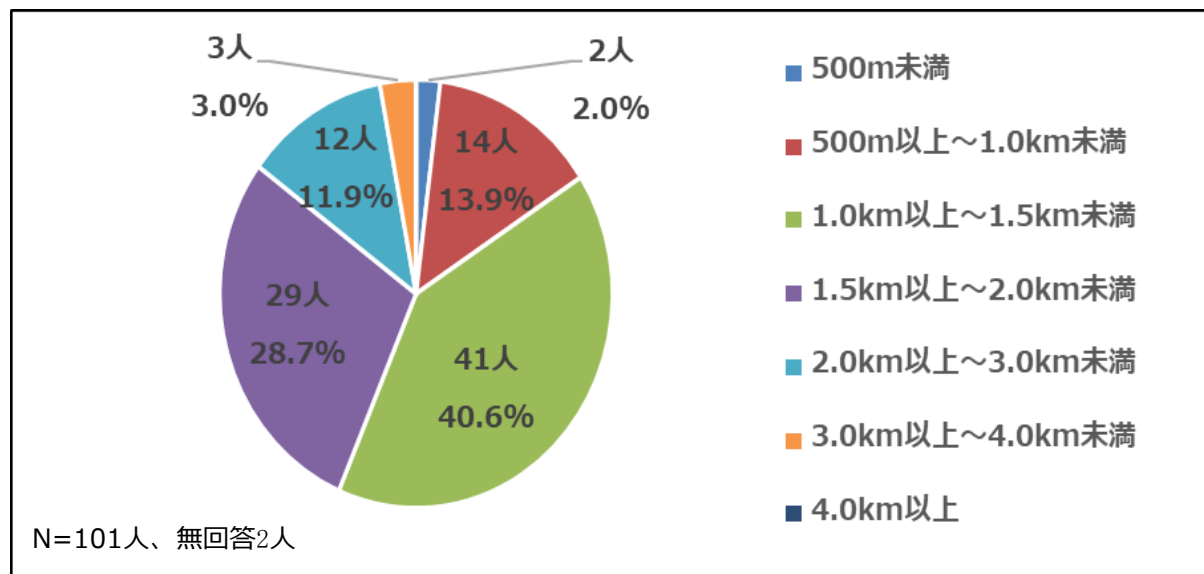


《未就学児の保護者》

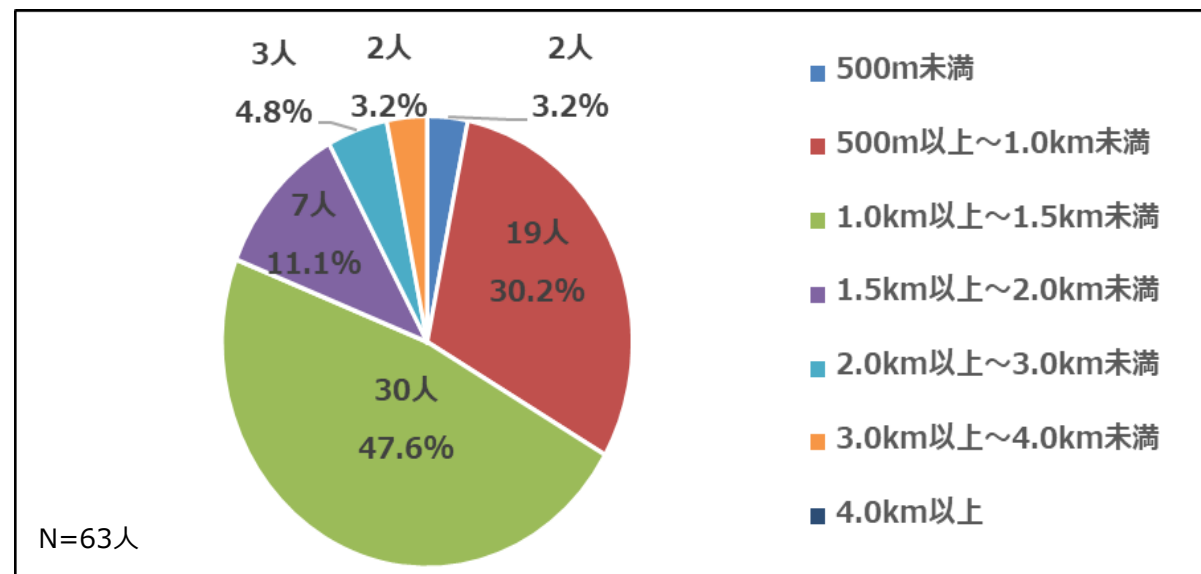
【スクールバス導入調査研究業務報告書 14ページ、28ページから抜粋】

3-2 保護者アンケート 実施結果③

■保護者が考える、児童の通学距離の限度



《児童の保護者》

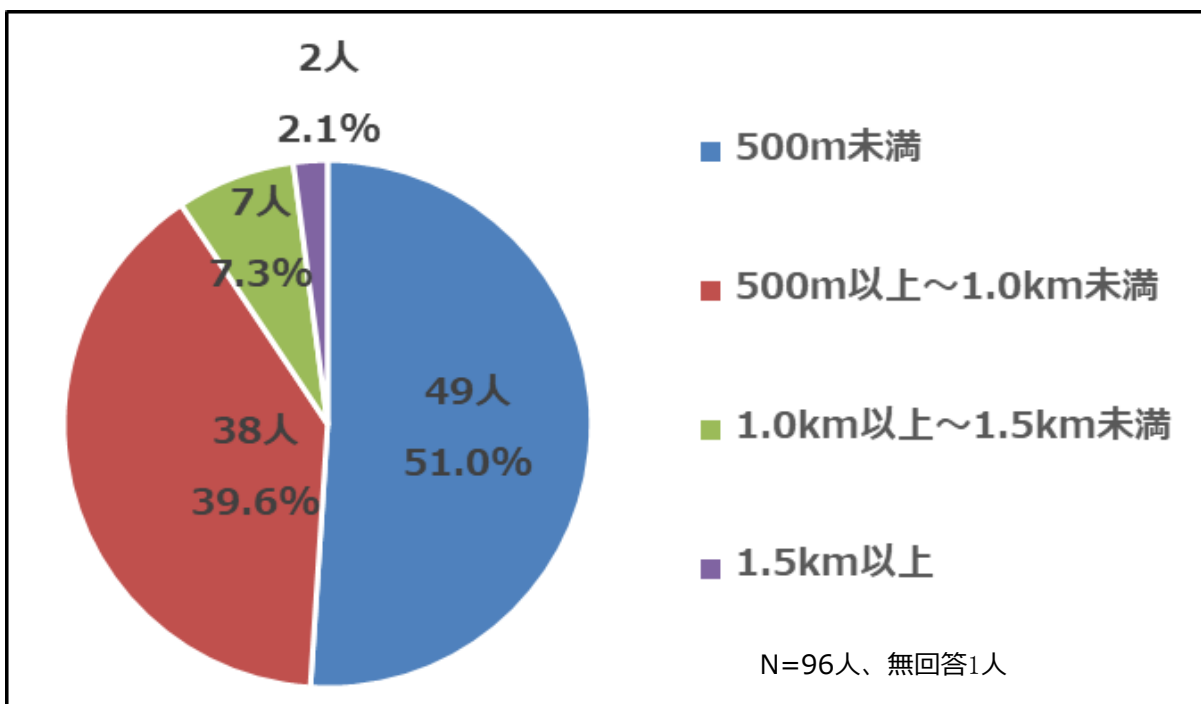


《未就学児の保護者》

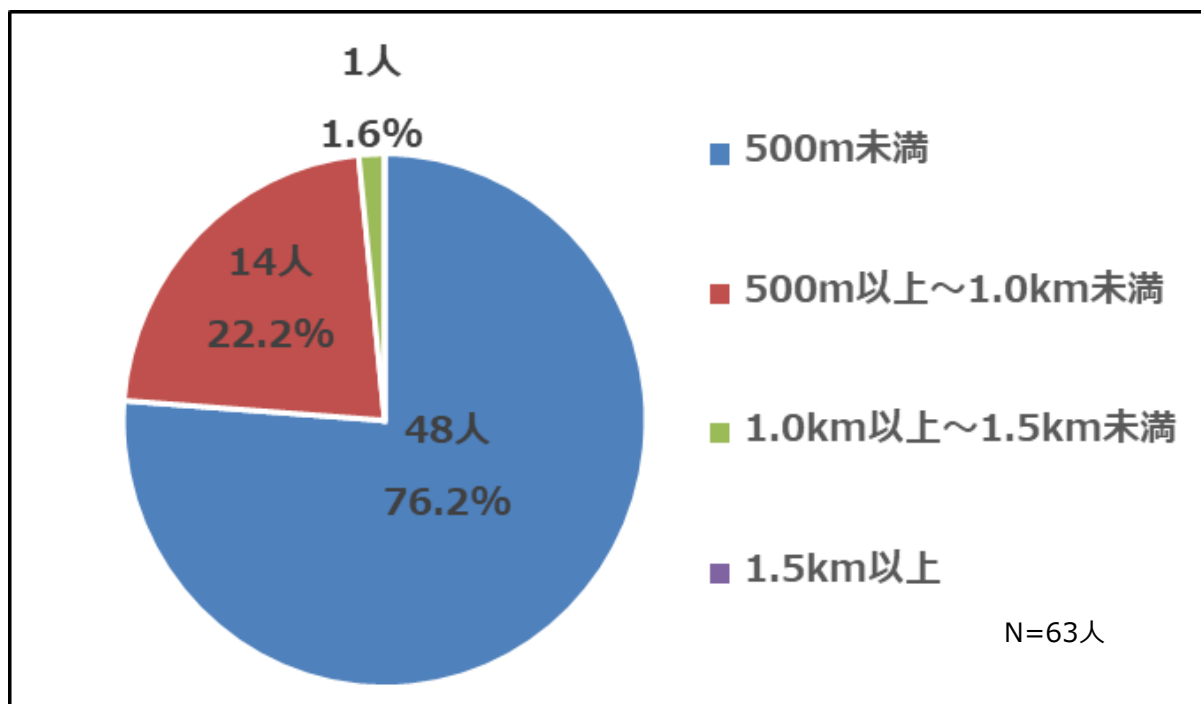
【スクールバス導入調査研究業務報告書 12ページ、26ページから抜粋】

3-2 保護者アンケート 実施結果④

■ 保護者が適切だと考える、自宅からスクールバス乗降場所までの距離



《児童の保護者》

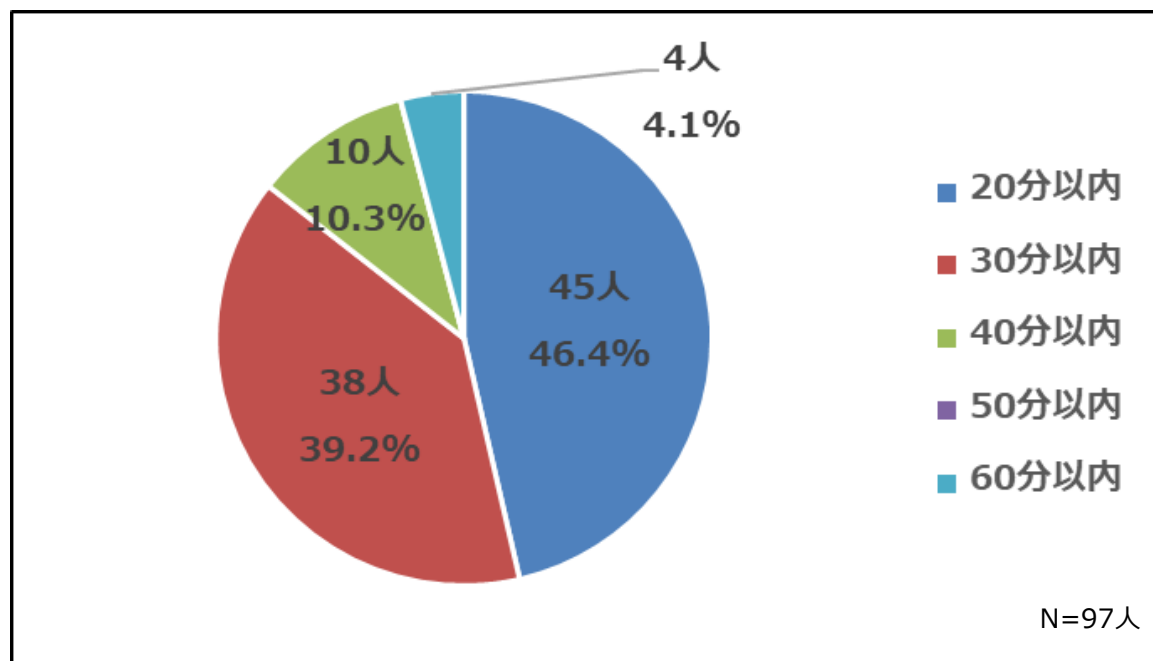


《未就学児の保護者》

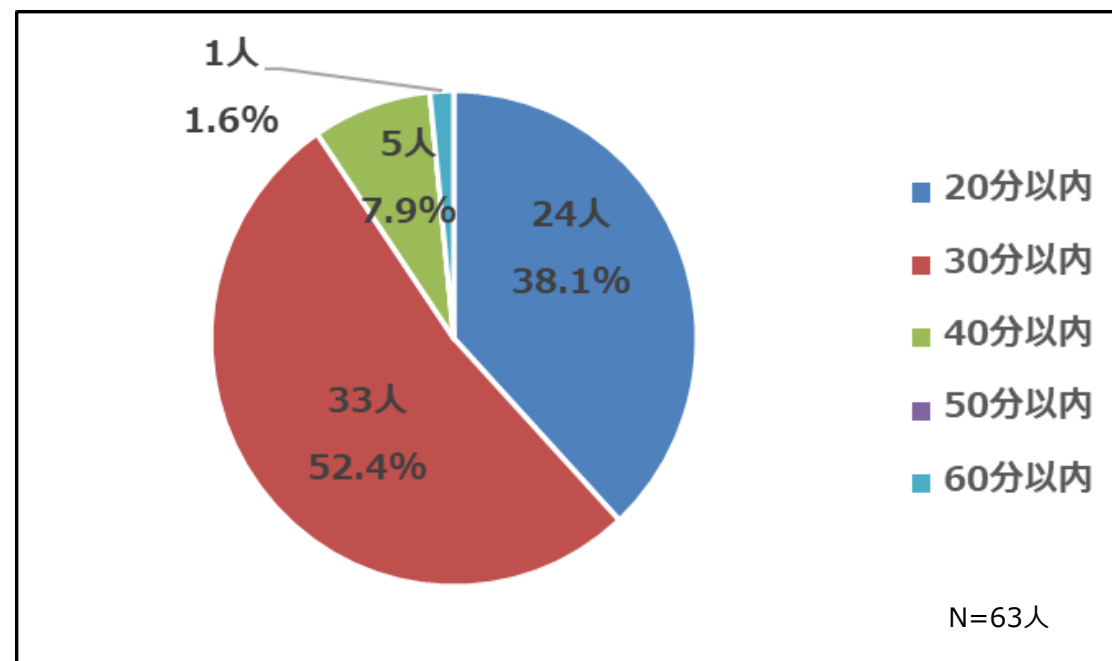
【スクールバス導入調査研究業務報告書 16ページ、30ページから抜粋】

3-2 保護者アンケート 実施結果⑤

■保護者が適切だと考える、スクールバスの乗車時間



《児童の保護者》

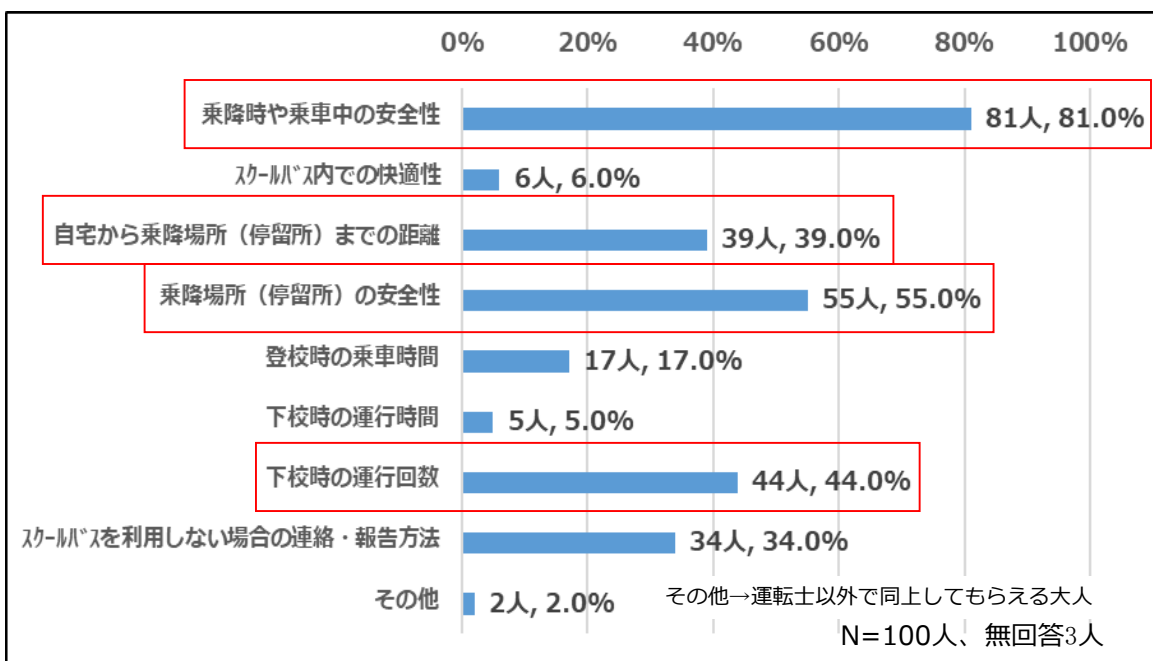


《未就学児の保護者》

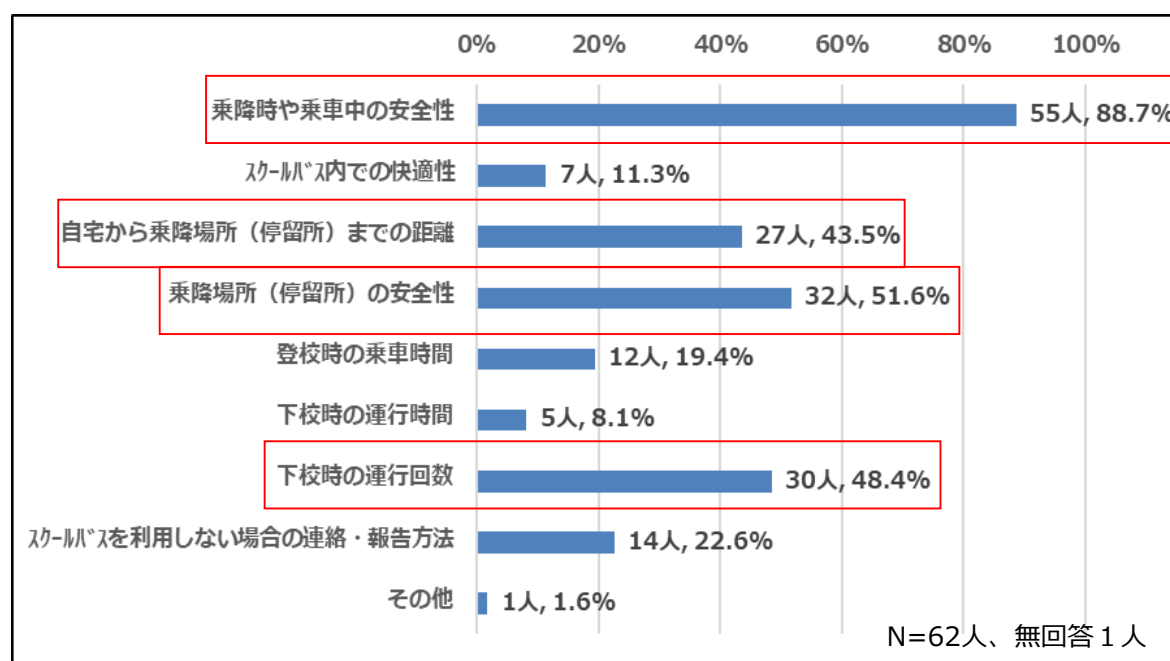
【スクールバス導入調査研究業務報告書 17ページ、31ページから抜粋】

3-2 保護者アンケート 実施結果⑥

■ 保護者が重要だと思う点 (最大3つまで選択可)



《児童の保護者》

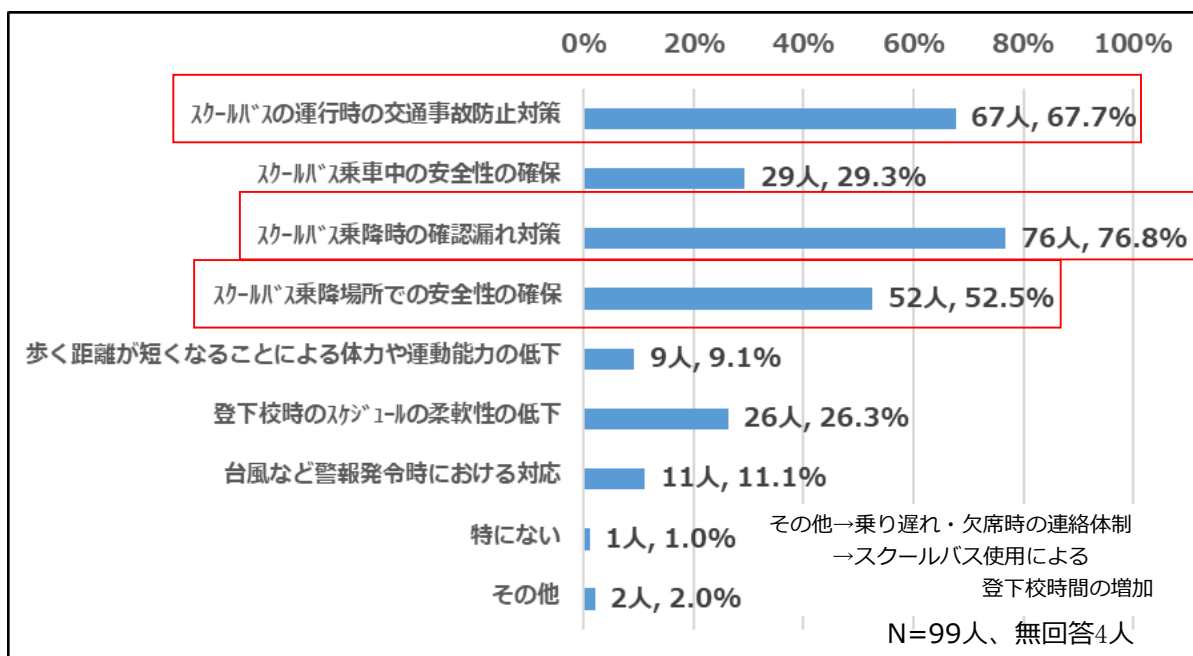


《未就学児の保護者》

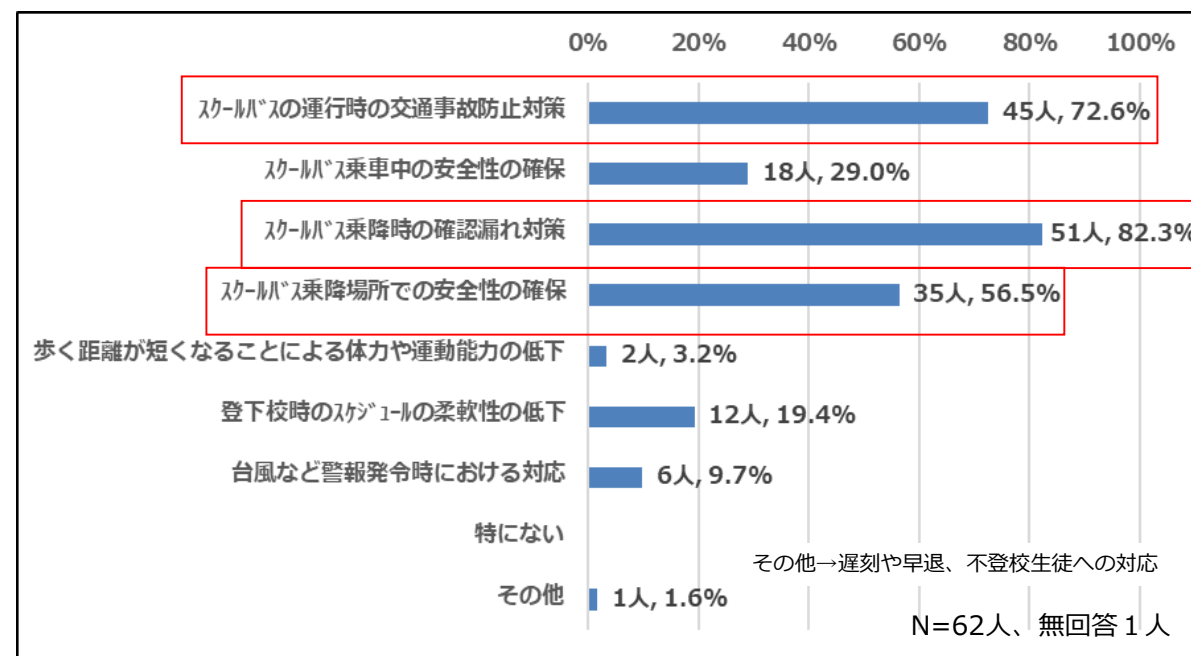
【スクールバス導入調査研究業務報告書 18ページ、32ページから抜粋】

3-2 保護者アンケート 実施結果⑦

■保護者が懸念する点 (最大3つまで選択可)



《児童の保護者》

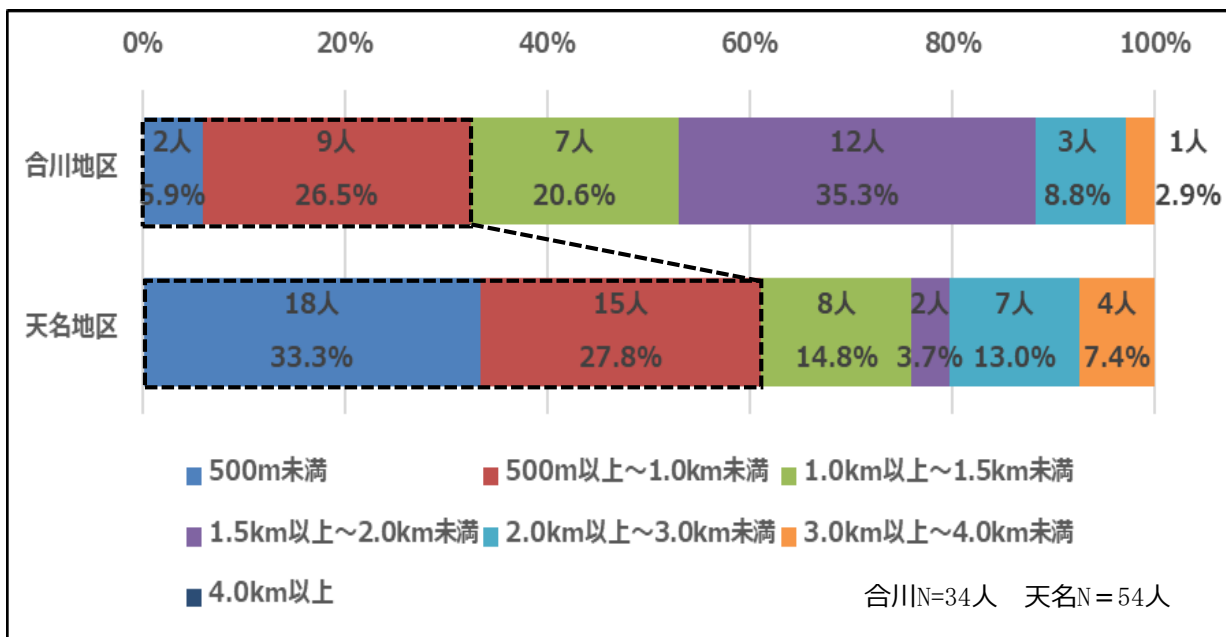


《未就学児の保護者》

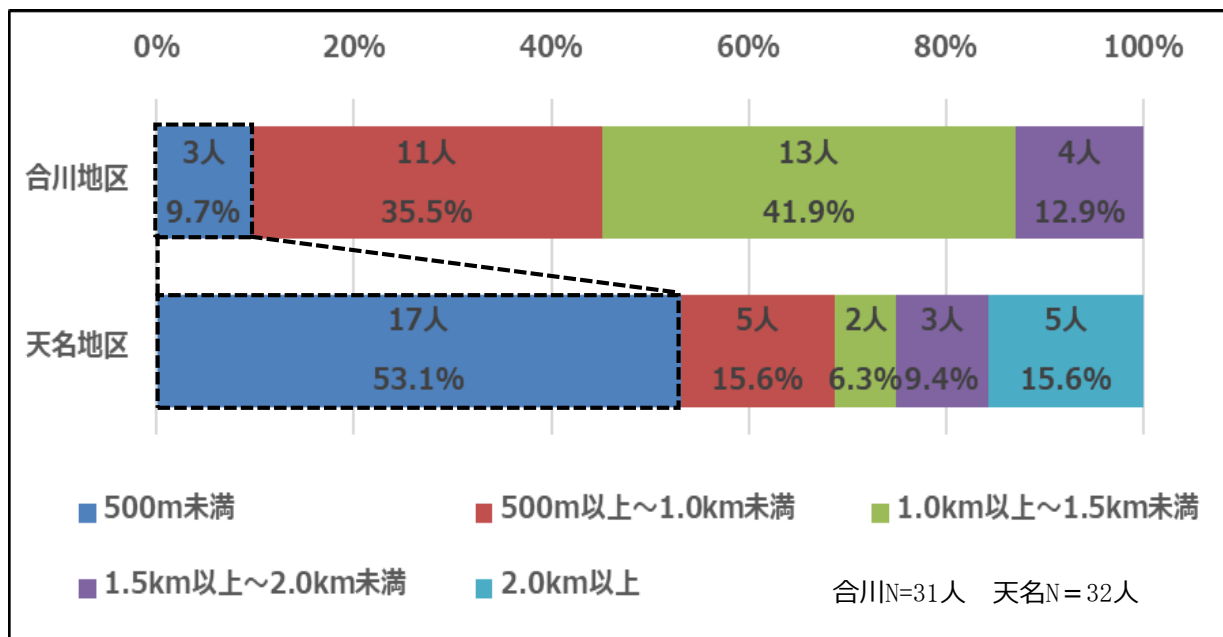
【スクールバス導入調査研究業務報告書 20ページ、33ページから抜粋】

3-2 保護者アンケート 実施結果⑧

■ 地区毎(合川地区・天名地区)の違い ⇒ 現在の通学距離



《児童の保護者》



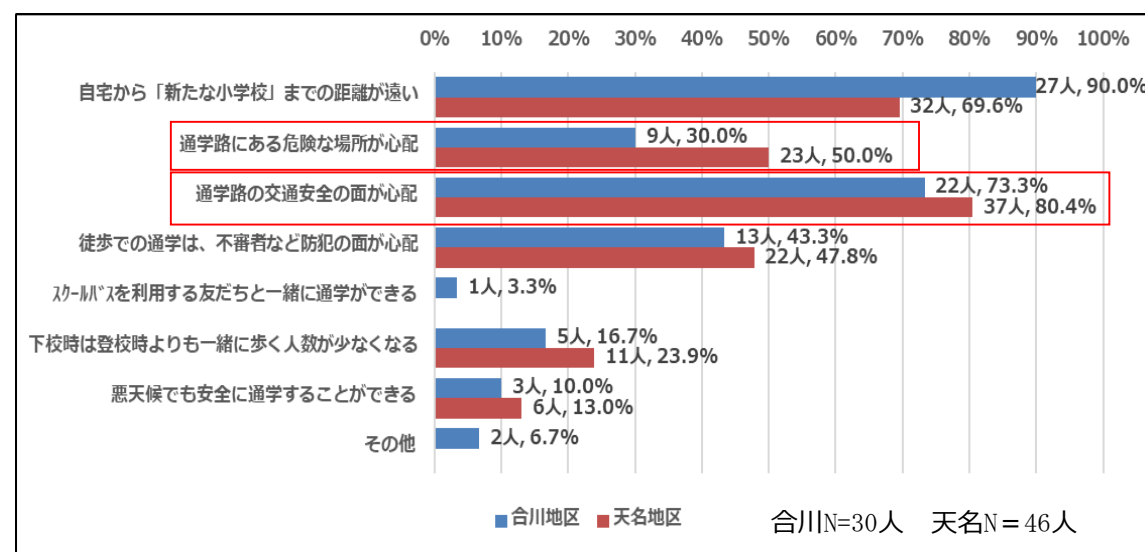
《未就学児の保護者》

【スクールバス導入調査研究業務報告書 43ページから抜粋】

3-2 保護者アンケート 実施結果⑨

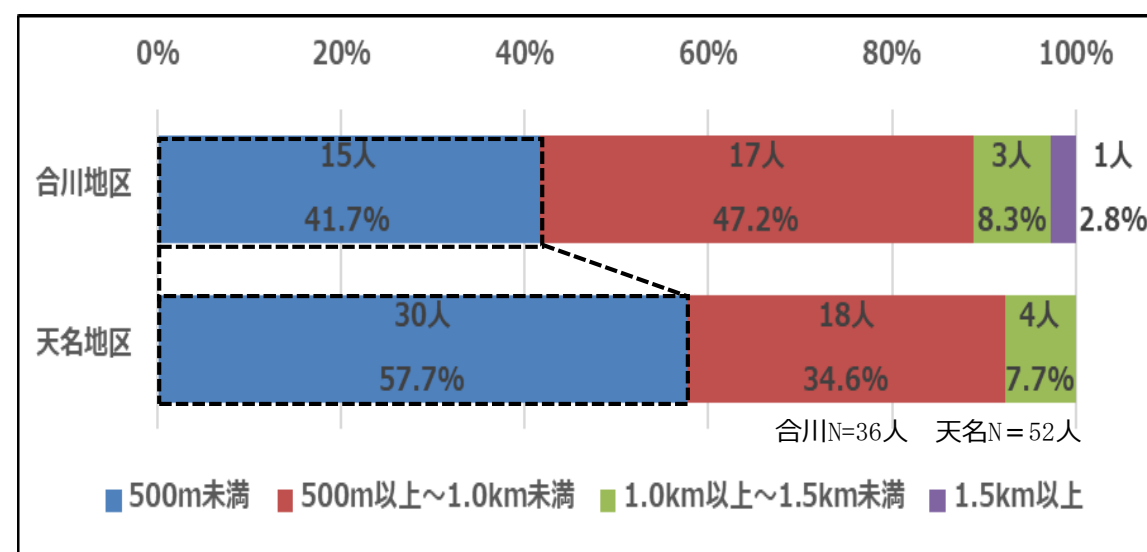
■地区毎(合川地区・天名地区)の違い ⇒ 現在の通学距離の違いによる意識の変化

○スクールバス利用希望の理由 (最大3つまで選択可)



《児童の保護者》

○保護者が適切だと考える、自宅から乗降場所までの距離

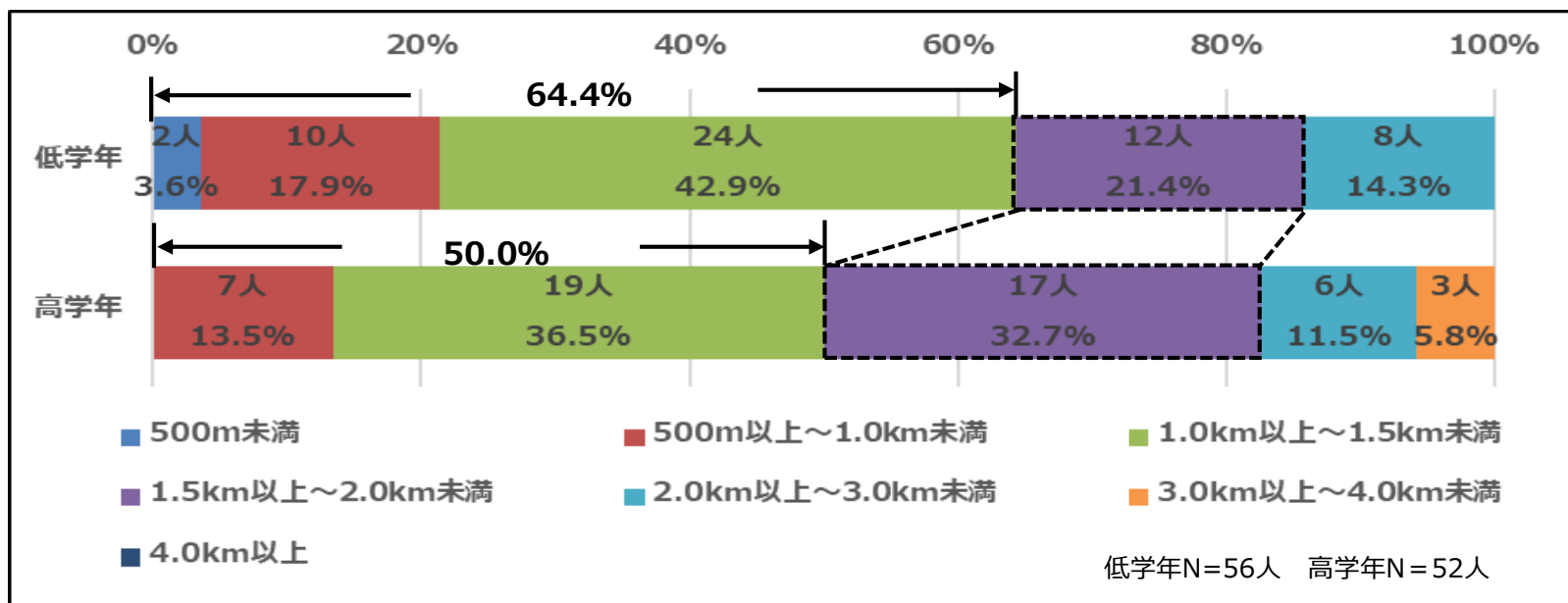


《児童の保護者》

【スクールバス導入調査研究業務報告書 44ページから抜粋】

3-2 保護者アンケート 実施結果⑩

■学年毎(低学年・高学年)の違い ⇒ 保護者が考える、児童にとっての通学距離の限度に関する意識の変化



《児童の保護者》

【スクールバス導入調査研究業務報告書 45ページから抜粋】

3—3 保護者アンケート 全体の傾向

- 保護者が適切だと考える、自宅から乗降場所までの距離は、「500m 未満」が最も多く、次いで多い、「500m 以上1km未満」を加えると全体の約9割を占めている。
- 保護者が適切だと考える、スクールバスの乗車時間は、「20分以内」、「30分以内」が多く、この2つで全体の約9割を占めている
- 保護者の関心が高い項目 安全性 ⇒ 確認漏れ対策
その他 ⇒ 自宅から乗降場所までの距離、下校時の運行回数
- 地域性の配慮 【共通】交通量増加(交通安全)
【天名】長距離の徒歩通学への抵抗感、危険箇所の対応

【スクールバス導入調査研究業務報告書 46ページから抜粋】